

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター わかゆり学園		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 13日		R8年 2月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 5名
○従業者評価実施期間	R8年 1月 13日		R8年 1月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数) 2名
○訪問先施設評価実施期間	R8年 1月 13日		R8年 2月 27日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	6施設	(回答数) 4施設
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者と話し合う機会を意識的に設定することで、子どもの育ちと一緒に考える場としている。 具体的には保護者と日程調整の上で、三者面談(保護者、訪問先職員、訪問員)の実施や、個別支援計画の聞き取り・説明、訪問のフィードバック時を対面にて実施。	保育の節目に面談の場を設けることで、三者で子ども状況を共有し、皆で一緒に関わりや支援の方向性について話し合っている(必要に応じて節目以外にも保護者に確認の上で、面談を行い三者で話をする機会を設けている)。	支援報告はメールや電話だけでなく対面で伝える機会を意識的に取り入れるようにしていく。 保護者や訪問先に向けて訪問支援のアドバイスだけでなく、必要な情報を提供し共有することについても、三者で話し合える機会を整えていく。
2	障害児支援(小集団)や保育所での経験を重ねた職員が複数人(専門職も含め)で対応することで、様々な視点から子どもの育ちや配慮事項を検討できるようにしている。	必要に応じて2名で訪問に向うことや支援後には担当者間でフィードバックすることで、情報共有や支援の方向性、手立てを一緒に検討するようにしている。また適宜専門職に訪問への同行や助言を仰ぐことで、支援の質を高められるようにしている。	同事業所内の保育を観察することや実際に入らせてもらうことで、アセスメントするための視点や実際の子どもの関わり方を見直す環境を整えていく。
3	訪問先(支援者)に向けた支援の実施。	所属集団全体に活かせる支援内容を検討。 まずは職員の大変さや頑張りをおいつつ、時間を掛けながら子どもに向けた支援と一緒に考えられるような関係づくりを大切にしている。	クラス運営の中でフォローを必要としている児が他にもいるケースが多い為、随時職員からの質問や相談に応えつつ、必要に応じて地域支援の一環とした「相談」「巡回訪問」に繋げていくようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	年度によって訪問支援の担当職員の入れ替わりがある。 (訪問施設や保護者との関係性を再構築していく必要がある)	定期的な人事異動があるため。	平日頃より支援については明確な記録を作成するとともに、異動時には後任者への引継ぎを徹底する。
2	必要な支援ではあるが三者面やフィードバック等を実施することで、保護者や訪問先に度々都合を調整していただく機会がある。	保護者に関しては日常的なやり取りが少ない分、設定された場面に比重が向いてしまい時間が掛かってしまう(保護者は就労されているケースも多く、時間調整しづらい状況)。 訪問先に関しては関係づくりの意味合いもあるため、フィードバックに時間が掛かってしまう。	保護者に関しては、事前に確認している頻度の中で情報共有していけるよう共有する内容を事前にまとめておく。 訪問先に関しては職員の都合もあるため、フィードバックの内容の精査、必要に応じて電話、メール等を活用しながら訪問支援に掛かる負担軽減を図っていく。少しでもメリットを感じてもらえるような情報も伝えていく。
3	訪問支援の対象が未就学児であるため、就学後のフォローはできていない。	わかゆり学園では未就学児を対象としているため。	保育所等訪問としての支援は就学までで切れてしまうが、何かあった時の相談場所として保護者に周知していく。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 心身障害福祉センターわかゆり学園 児童発達支援センター

公表日 R 8年3月13日

利用児童数

6名

回収数

5名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	2	0	0	3		今後も必要な教具教材を整えてまいります。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	4	1	0	0		
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	5	0	0	0		引き続き適切に説明をしております。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	5	0	0	0		今後も保護者様、訪問先とご相談をした上で決定をしております。
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	4	1	0	0		職員配置は継続しております。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	0	0	0		職員研修等を行い専門性を高めてまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5	0	0	0		引き続き、お子様のご様子や保護者様とお話をしながら個別支援計画の作成を行っております。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	4	0	0	1		引き続き、訪問先施設の先生方と相談をしながら個別支援計画を作成しております。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	4	0	0	1		引き続きガイドラインに基づき、適切な支援を提供しております。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5	0	0	0		引き続き保育所等訪問支援に沿った支援を提供しております。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	5	0	0	0		引き続き、訪問先施設に配慮した支援を提供しております。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	5	0	0	0		引き続き丁寧な説明をしております。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5	0	0	0		引き続き丁寧な説明をしております。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	5	0	0	0		家族支援プログラムや研修会等、充実できるよう検討をしております。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	5	0	0	0		メールにて訪問時の様子をお知らせしております。引き続き、共通理解が図れるようにしております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	0	0	0		引き続き面談等を行いお子様についてご支援しております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	5	0	0	0		引き続きお子様の状況を確認しながら保護者の方の思いを受け取れるようにしております。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	0	0	0		引き続きご相談やその申し入れに対して迅速かつ適切に対応をしております。
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	5	0	0	0		引き続き、お電話やメール、通知文等で情報伝達を行っております。
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	5	0	0	0		引き続き、必要な助言、指導が出来るよう、研修等でスキルアップをしております。	

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	4	0	0	0		引き続き、訪問先施設と密に連携を図ってまいります。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	5	0	0	0		引き続き、メール等で報告書をお渡しし、共有をしております。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	2	0	0	3	・気にしたことがなかった	通知文等でお知らせをしています。また、自己評価の結果等は掲示板に掲示するとともにホームページにて公表をいたします。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	5	0	0	0		引き続き個人情報の適正な取扱いについては徹底をしております。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	4	0	0	1		引き続き、緊急時の対応については訪問先施設と連携を図ってまいります。
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	4	0	0	1		訪問先施設と連携を図り、安全の確保が十分に行われたうえで支援を行ってまいります。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	5	0	0	0		お子様に負担にならないよう訪問支援を行って参ります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	5	0	0	0		保護者の皆様のご意見を参考にし、より良い事業所になるよう努めてまいります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日						
心身障害福祉センターわかゆり学園 児童発達支援センター		令和8年3月13日						
		利用児童数			6名	6施設	回収数	4施設
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	4	0	0	・例えも教えて頂けるので実践に入れやすいです。 ・保育所での様子をよく観察していただき、振り返りの時には学園の様子も交えてお話をしてくださるのでとてもわかりやすいです。	引き続き訪問後の振り返りを通じて、情報共有を図ると共に、日々の保育に活かせる支援内容について一緒に検討していきます。			
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	4	0	0	・とても満足しています。あらゆる角度からのアイデアを出していただけるのでとても勉強になります。	ご意見ありがとうございます。支援員として大変励みになります。今後も適切な支援を提供していきます。			
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	4	0	0	・こちらからの質問をしっかりと聞き取っていただき、いつも適切な回答が返ってきます。 その回答でうまくいかないことがあった時はまた別の手立てを考えて回答してくださるので助かります。	すぐにお答えできない質問に対しては、一度持ち帰り専門職等に相談・確認の上回答するようにしていきます。			
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	4	0	0	・悩んだ時にすぐに聞ける体制はとても心強く悩みが軽減されました。	利用児の様子だけでなく、クラス状況も考慮し、実現可能な対応方法を提案するよう心がけていきます。			
5 事業所からの支援に満足していますか。	4	0	0	・毎月の訪問指導の他に、ロゴチャットのグループで細やかな支援を受けることができるので満足しています。	学園の併行クラスの利用児につきましては、今後も学園での様子を共有しながら、支援について一緒に考えさせていただきます。			
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応				
<ul style="list-style-type: none"> ・いつも保護者との関わりやその子に対しての持っつき方などなど、相談しやすくありがたく思っています。 ・いつも優しく暖かく見守って下さりありがとうございます。相談も沢山聞いて下さり自信に繋がりました。 ・いつもありがとうございます。専門的な細やかな視点でアドバイスいただき、保育に活かしており、お子さんの成長に繋げることができています。また、職員の知識の向上にも繋がっています。 ・この度、初めて訪問指導を受けさせていただきました。学園の先生方、保護者、保育所の連携でこんなにも不安なく児童の成長を支援出来る事に感動しております。毎月の振り返りでは担任の関わりを決して否定することなく、たくさん褒めていただき、また関わり方のヒントを出していただきモチベーションをあげていただきました。本当にありがとうございました。引き続き 				<p>ぜひ来年度以降もよろしく願いいたします。</p> <p>今後につきましても、ご相談・お悩み等がありましたらお気軽にご連絡いただき、一緒に考えさせていただきます。</p>				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日			
心身障害福祉センターわかゆり学園 児童発達支援センター		令和8年3月13日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整備	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2	0	・訪問先の施設と相談をし負担がかからないようにしながら必要に応じて、学園内にある教具や教材の提案や貸し出しをしている。 ・適宜、必要に応じて学園教材を持参して支援に活用している。	なるべく所属施設にある教具を使用した活動参加方法を検討する。
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	0	・面接や契約の手続きは2名で必ず行っている。 また、支援状況によっては児童発達支援管理責任者と訪問員で対応するようにしている。 ・面談や支援内容によっては複数で対応するようにしている。	
業務改善	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	0	・相談内容によって、その都度職員間で振り返りを行い、改善するようにしている。	
	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0	・年度末に「保育所等訪問支援評価表」を実施している。	評価表に限らず、日頃のやり取りや面談等でも保護者等の意向を把握できるような、関係づくりを心掛けていく。
	5 従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	0	・訪問支援に行く前後には必ず職員間で話を交わす時間を設け、よりよい支援に繋がるようにしている。 ・日常的に話し合いの場を設けて、業務に活かしている。	
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	2		必要に応じて第三者の外部評価の実施を検討していく。
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2	0	・応援が必要なクラスには、支援の引き出しを増やすために積極的に保育に参加している。 施設内での研修に参加している。	積極的な専門職の活用や研修会等への参加を通して、日々資質の向上を図れるよう、職員の意識を高めていく。
	8 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2	0	・保護者や担任との面談で聞き取りを行ったり、訪問支援での子どもの状況をもとにアセスメントを行い、児童発達支援管理責任者が作成している。	
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	0	・訪問後には必ず子どもの様子や担任の困り感などを共有しつつ、無理なく実施できる方法や内容を検討している。	個別支援計画に関しては児童発達管理責任者の業務であるため、保護者や所属施設への聞き取りについては訪問員も関わる機会を設け、職員間で把握できるようにしていく。
適	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2	0	・クラス全体の子どもの様子や担任の先生から聞き取りを実施し、意向(訪問頻度、振り返り方法等)も合わせて確認している。 ・訪問時の様子や保護者、所属園の担任からも話を聞いて支援計画に活かすようにしている。	
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0	・作成後は、児童発達支援管理責任者と訪問員で共有している。 訪問支援中は担任の先生と確認しながら支援を行うようにしている。	
	12 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	0	・併用利用クラスに所属している児については、検査などのツールを用いてアセスメントを行っている。 訪問支援開始前に訪問先に出向き、様子を観察する。	・保育所等訪問支援のみ利用児に向けた、アセスメントツールの検討を行う。
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2	0	・母集団で支援するのは担任の先生がメインになるため、支援計画には無理なく実施できる内容を児童発達支援管理責任者と相談して作成している。	支援者のニーズに偏りすぎず、現状の子どもニーズについても支援者と共有しながら、子どもに向けた支援について一緒に検討していく。

切 な 支 援 の 提 供	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	0	・支援計画会議を児童発達支援管理責任者と訪問員で必ず実施し、共有している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	0	・前回の訪問支援記録や現状の様子を児童発達支援管理責任者と話の中で、支援内容を確認したうえで訪問に向う。 訪問員1人で行くことが多いため、必ず訪問した日か次の日に話を交わすように意識している。 専門職（心理士、OT）が同行する時は事前に保護者に確認と困り感を聞き支援につなげている。 ・前回の訪問時の様子や課題から、本日の支援の狙いを確認している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2	0	・訪問支援記録だけではなく、訪問支援後に担当者間で口頭で報告し、支援の振り返りを行うようにしている。 訪問支援記録も回覧し、情報を共有している ・訪問後は訪問時の子どもの様子、担任との情報交換、保護者へのフィードバック内容について確認している。	記録やフィードバックを通じて情報共有を行ったが1人の職員がメインで訪問へ向うことが多くなり子ども状況を把握しきれないこともあった。そのため、職員間で頻度を決めた上で2人で訪問へ向う月や担当を入れ替えるなどの対応を図るようにしていく。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2	0	・担任の先生の考えや思いに寄り添いながら、確認しながら支援を行っている。	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2	0	・訪問支援に行った時は訪問支援記録を作成している。 また支援の中で検討したほうがいいものに関しては担当者で検討や改善も行うように心がけている。	記録については記載内容を精査し単純明快にすることで、保護者との共有やその後の保育に活かせるものになるよう作成していく。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2	0	・母集団での児の様子によって、訪問頻度を調整や検討を行う。 変更が生じる時は、保護者に必ず確認をしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	2	0	・三者面談（保護者・訪問先・訪問員）で顔を合わせる機会を設けている。	実際にサービス担当者会議を実施したことはないため、必要があれば開催を検討していく。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2	0	・子どもの状況などに応じて関係機関に連携をとるようにしている。 ・保護者に確認の上で、必要に応じて関連機関との連携を図り、情報共有するようにしている。	必要に応じて連携を図るようにしているが、他事業所の状況によってはタイミングが合わないことも有るため、保護者に承諾を得た上で連携するための方法を検討していく。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	0	・保育所等訪問支援として就学に向けた移行支援は実施していない。 母集団から相談があったときは、振り返りながら必要な支援を確認する。	保護者から希望があれば情報提供という形で対応することは可能であるが、断片的な情報になってしまうため、どのように情報共有を図っていくかは検討が必要。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2	0	・訪問支援に保護者に確認を取りながら、専門職に同行してもらい、助言をいただいている。 ・心理士、作業療法士に同行してもらい、助言を受ける機会を設けている。	外部の研修に参加して情報や知識を学ぶ機会は設定しているが、アウトプットする機会を設けていない。職員の知識を深めるための機会を設定していく。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	2	0		
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	2	0	・訪問支援記録をメールで送付しながら2か月に1回は面談もしくは電話で子どもの状況を確認している。 基本はメールでのやりとり中心。 ・文書だけでなく、定期的に顔を合わせて話す機会を設けている（難しい場合でも電話を用いてやり取りする機会を設定）。	就労されている保護者が増えているため、都合がつけにくいことも多い。 メールを活用しつつ、何らかの形で必ず保護者と情報共有する機会を設けるようにしていく。
26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	0	・情報は提供するが参加には繋がりがづらい。 保護者の無理ない方法や現状のライフスタイルに合わせた機会の検討が必要。	就労されている保護者が増えているため、都合がつけにくいことも多い。 別機会で保護者と顔を合わせる際に、情報提供として伝えるようにしていく。	

保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	0	・訪問支援の契約の時に、対面で行っている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2	0	・訪問支援の契約の時に対面で行い、訪問利用開始前に三者面談を実施して共通理解をできるようにしている。 ・年度ごとに新任に説明できるようにしている（異動等で管理職が変更になった際も実施）。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点も踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	2	0	・聞き取りは保護者のみ。保護者の希望の聞き取りの時に、子どもの思いも代弁してもらい計画の中に組み込んでいる。 ・言葉で自分の意思を表現できないお子さんもいるため、遊びの様子や普段の様子も意向確認の機会となるようにしている。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2	0	・計画の作成後は、必ず保護者に内容説明を児童発達支援管理責任者に行ってもらい、同意も得ている。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2	0	・2か月に1回面談（対面か電話）で行うようにし、家庭の様子を聞きつつ訪問先での様子を伝えるようにしている。 情報を共有しながら発達検査を勧めたり、就学に関する情報提供も行っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	1	・父母の会や保護者会は開催していない。 係内で行う就学相談の説明や先輩保護者の話を聞く会などの情報提供は行っている。 ・保護者同士の交流ではないが、情報提供や学習の機会を設けている。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2	0	・メールや電話で相談が主だが、児童発達支援管理責任者と相談しながら、共有し迅速に対応するようにしている。	相談の申し入れがあった際には迅速に対応するとともに、必要に応じて情報提供や面談を実施する等の対応をしていく。
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	1	・定期的に通信等発行はしていないが、個々に必要な情報はメールや電話で発信している。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0	・メールで訪問支援記録を送付する時には、個人名をイニシャル表記にしている。	
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2	0	・メール、書面、電話、対面など様々な手段を使うようにしている。		
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2	0	・訪問支援では契約している児の様子を見て、時にクラスの中の子どもの相談や違うクラスの子どもの相談がある。その際は地域の巡回支援の情報提供を行うようにしている。 ・訪問支援時ではなく、別の機会を設定し体制を整えるようにしている。	地域支援として希望があれば、保護者からの個別相談や巡回（訪問）支援の体制を整えて対応していく。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2	0	・訪問支援後に必ず行っているが訪問先に負担がかからないようにしている。 訪問先によって実施の仕方（実施場面、時間、方法（電話、対面））は異なる。 ・担任の先生に無理のない方法を選択して、実施するようにしている。	少なからず所属先の時間を頂いてしまうため、カンファレンスの時間や方法等、先方に相談の上実施していく。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2	0	・訪問支援記録を、訪問に伺うたびにメールや書面にて報告している。 2か月に1回面談や電話で実施し、母集団での様子や支援した内容を詳しく伝えるようにしている。 ・必ず2月に1回は、面談ないし電話にてフィードバックを行うようにしている。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2	0	・メールで支援記録を送付する時は、イニシャルにしている。 訪問先と個人情報を伝える時は、保護者に必ず確認をして了承を得てから行うようにしている。	

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2	0	・相談内容によるが、すぐに返答ができるものに関しては返答するようにしている。 内容によってはすぐに返答ができない場合もあるため、職場に持ち帰り、児童発達支援管理責任者に相談、時に副園長にも相談して意見をもらい、返答するようにしている。 また、内容によっては学園の椅子や教材を提供することもある。	子ども支援と同様に支援者支援も重要な取り組みである為、訪問先のご相談にのることや日頃の大変さや頑張りを認め、労うことで信頼関係を築けるようにしていく。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	2	0	・非常時の対応方法に関しては、三者覚書の時に保護者とともに確認をしており、訪問先の指示に従うにしている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	1	・訪問先で支援を行っているため、非常災害などが起きた場合は、訪問先の指示に従って対応することになる。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2	0	・学園内で起きているヒヤリハットに関しては、その都度ミーティングなどで担当が記録して職員全体に周知、検討している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2	0	・毎年研修を受講している。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	1	・該当者なし。	今後、当該ケースがあった際には3者で話し合いの下、対応方法を検討していく。